

日付	入院当日			手術当日			術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4~6日目	術後7日目	術後8~12日目	術後13日目	術後14日目				
	入院日~(手術前日)			術前	術中	術後									退院日			
目標	①病態・治療の理解ができる ②手術の必要性とリスクを理解できる ③股関節の痛み、腫脹、関節可動域制限による日常生活の動作ができる			④良肢位の保持ができています。拳上して、腓骨神経を圧迫しない ⑤知覚、自動運動が回復する ⑥呼吸困難、頭痛、嘔気、嘔吐がない ⑦出血・疼痛がコントロールされている														
看護計画	#1 #2 #3 #4 #5				周術期に伴う身体優美 術後合併症出現の危険性がある(創感染、疼痛、出血) セルフケア不足 転倒・転落の可能性 褥瘡のハイリスク状態													
医師・看護師	・主治医が挨拶にきます ・担当看護師が今回の入院について説明します ・介護保険の申請についてお伺いします						痛みの軽減を図る	痛みの軽減を図りながら介助で車椅子に移動できる	・退院に向けて家の調整をしていきます ・退院に対して不安なことがあれば声をかけて下さい				<確認事項です> ・ご自宅はベッドですか？ ・トイレと浴室に手すりはありますか？ ・シャワーチェアはありますか？					
説明・確認	・食事について説明します ・手術前の注意事項を説明します ・医師が手術部位のマーキングをします ・麻酔科の先生の説明があります			・手術着に着替えます ・義歯・装飾品を外してください ・化粧を落とし、爪を綺麗にしてください			・痛みがあるとき、眠れないなど困った時には医師・看護師に声をかけてください											
血圧・体温	入院時に測ります 			6時に測ります			血圧測定や体位の確認など、適宜全身の観察に伺います			6時頃と14時頃に測ります 			午前中に測ります 					
安静度	病院内を自由に歩行できます						ベッド上安静となります 適宜体位交換を行います			<リハビリ開始> 平行棒を使っての歩行訓練を行います 病棟では車椅子で移動します ※足を地面についても構いません			歩行器を使用して歩行します			杖を使って歩行訓練をします		
注射				点滴をします 			点滴を継続します			状態をみて点滴を除去します								
検査				レントゲンを撮ります 			心電図や酸素マスクなどを装着します ・血栓予防のためにポンプを付けます			採血があります 			採血があります ・採血を調べるためにエコーを行います ・レントゲンがあります 			採血があります ・レントゲンがあります 		
内服薬	・内服薬の確認をします ・から中止してください ・内服を継続するかどうかの指示があります 			痛みどめと胃薬の処方があります 									・痛みどめがなくなります ・痛みがある場合には声をかけてください 					
処置・ケア							・外来でためていれば自己血輸血をします ・ためていなければ状況によって輸血をすることがあります			傷口から出血しているときには医師または看護師に声をかけてください			傷のガーゼをとり保護剤を貼付します ・弾性包帯をします ・クーリングをして腫れを抑えます			術後14日頃に抜糸をします 		
食事	・夕食がです ・食事は__時までですませてください ・飲水は__時以降禁止になります						・麻酔の影響でどの違和感や吐き気が出現することがあります ・術後の状態によりますが術後3時間より飲水が可能となります ・術後の経過により夕食が出ます			食事がです 								
排泄	制限ありません			尿管を挿入します 			・尿管を抜きます ・車椅子でトイレに行きます											
清潔							身体を拭いて着替えます 						傷口から出血がなければシャワー浴を開始します 					